

ネイティブヒトカテプシンB

Cat. No. NATE-0169

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 カテプシンBは、プロカスパーゼ1およびプロカスパーゼ11を切断し、ジゴニン透過性細胞においてアポトーシスを誘導することが発見されています。カテプシンBの細胞質から核への移動は、胆汁酸によって誘発されるラット肝細胞のアポトーシスに寄与します。PC12細胞におけるカテプシンBのレベルは、アポトーシスが誘導された後、12から24時間で有意に減少します。

用途 カテプシンBは、ペプチド結合に因りて広範な特異性を持つリソソームシステインプロテアーゼです。カテプシンBは、アルツハイマー研究において有用なツールとなる可能性があり、病気に因りる自然な防御に役割を果たすかもしれません。カテプシンBは、プロカスパーゼ1およびプロカスパーゼ11を切断し、デジトニン透過性細胞においてアポトーシスを誘導するために使用される可能性があります。

別名 CTSB; カテプシンB; カテプシンB1; APPS; CPSB; EC 3.4.22.1; 9047-22-7; カテプシンII; CatB

製品情報

種	人間
由来	ヒト胎盤
形態	リン酸緩衝塩を含む凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.4.22.1
CAS登録番号	9047-22-7
活性	> 5 ユニット / mg タンパク質
組成	タンパク質、約50% ローリー
代謝経路	抗原処理と提示、特定生物のバイオシステム; 抗原処理と提示、保存されたバイオシステム; 免疫系、特定生物のバイオシステム; 自然免疫系、特定生物のバイオシステム; リソソーム、特定生物のバイオシステム; リソソーム、保存されたバイオシステム; トール受容体カスケード、特定生物のバイオシステム
機能	システイン型エンドペプチダーゼ活性; システイン型ペプチダーゼ活性; キニノゲン結合; ペプチダーゼ活性; ペプチド結合; タンパク質結合
単位定義	1ユニットは、pH 6.0、40°CでZ-Arg-Arg 7-amido-4-methylcoumarinから1分あたり1ナノモルの7-amino-4-methylcoumarinを放出します。